

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・「縦割り掃除や縦割り遊び」で、他の学年の友達と協力して活動し、上級生も下級生も互いに相手を思いやる心が育っている。
・「自分から進んで」「笑顔で」「元気な声で」を合言葉に、あいさつができる児童が増えている。今後も、地域でのあいさつができるよう意識づけを図っていく。
・落ち着いた1日をスタートしたり授業に集中したりすることができるように朝読書を取り入れていく。また、基礎基本の学力向上を目指し、タブレット端末を使って、ドリル問題を解く時間を設定したり家庭学習に活用したりして習熟を図っていく。

2 学校教育目標
人との関わりを大切にしながら、よく学びよく遊ぶ、幸せいっぱい西小っ子をめざして
～ トライ&エラー&チア～

3 本年度の重点目標
トライ&エラー&チア
①思いやりの心をもってかかわろうとする児童の育成を目指す。 ②自ら気付き進んで取り組む児童の育成を目指す。 ③やる気を持って学び、高め合う児童の育成を目指す。

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目
Table with columns: 評価項目, 重点取組, 成果指標(数値目標), 具体的取組, 進捗度(評価), 進捗状況と見通し, 達成度(評価), 最終評価(実施結果), 評価, 学校関係者評価(意見や提言)

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
Table with columns: 評価項目, 重点取組内容, 成果指標(数値目標), 具体的取組, 進捗度(評価), 進捗状況と見通し, 達成度(評価), 最終評価(実施結果), 評価, 学校関係者評価(意見や提言)

5 総合評価・次年度への展望
・年間通して縦割り活動(縦割りグループ遊び、縦割り掃除)を実施し、異学年との交流を通して相手を思いやる心の育成につながった。有明小学校でも、友達との関係づくりに取り組んでいきたい。
・進んであいさつする児童や元気に外遊びをする児童が増えた。今後も笑顔と元気あふれる学校になるよう取り組んでいきたい。
・児童が主体的に地域と関わっていくことができるように場と機会を保障し、それぞれの活動のねらいを意識した取り組みを実践していきたい。